

# 地域密着型金融の取組み結果について

(平成23年4月から平成24年3月まで)



当金庫は、平成21年度を初年度とする3ヵ年経営計画において、「地域密着型金融の深化」をメインテーマに掲げ、各種施策に積極的に取組み、概ね計画通りに実施することができました。平成23年度の進捗状況(概要)は、下記の通りとなっております。

#### 【具体的な取組み】

1. 地域経済活性化への取組み
2. 創業・新事業支援
3. 経営改善支援

### 1. 地域経済活性化への取組み

#### ○ビジネスマッチング

平成23年8月4日にシグマバンクグループ4金庫合同にて、お客さま同士の交流とビジネスマッチングを目的とした「第3回シグマバンクグループ ビジネス交流会」を開催いたしました。参加企業248社による活発な商談が行われ、全体で10社、うち当金庫お取引先6社が成約いたしました。

#### ○新現役交流会

お取引先企業と新現役とのマッチングを支援する「新現役交流会」を、平成23年10月6日に開催し、参加企業17社と新現役87名とのマッチングが行われ、12件の契約が成立いたしました。

#### ○21世紀セミナー足立懇話会

お取引先の経営者の皆さまを対象に、会員相互の情報交換と交流を図るため、時事通信社との共同運営により、講演会および懇談会を開催いたしました。

#### ○あだちせいわ経営塾

次世代を担う若手経営者・後継者の皆さまを中心に、総合的なマネジメント勉強会を実施しております。経営を体系的に学んでいただくとともに、会員企業同士の交流を行っております。

#### ○産学公金連携

足立区内の企業・大学等研究機関・足立区との連携を進め相互理解を深めることを目的とした「足立区産学公連携促進事業」に協賛しております。その一環として、足立区主催の「あだちメッセ2011」に協賛したほか、東京電機大学との積極的な交流活動も行っていました。今後も産学公金連携を強化し、地域経済の活性化およびお客さまとの関係をより強固なものとするために邁進してまいります。

## 2. 創業・新事業支援

### ○創業支援事業の取組み

足立区が利子補給を行う制度融資「創業資金融資」に対し、保証料率のうち0.3%を上限に当金庫が負担するサービスを実施いたしました。東京23区内で初めての当サービスは平成23年4月から実施し、補助対象となった貸出は、平成23年10月末現在で22件、95百万円に達しました。同月自店での足立区全体に占める当金庫の創業資金シェアは、件数で52%、金額で56%となるなど、新規事業者の支援に積極的に取り組んでおります。

### ○西新井青色申告会と協定

足立区の地域経済の活性化と新事業の創出・産業の振興に向けて、一般社団法人西新井青色申告会との連携協力を推進するため協定書を締結いたしました。西新井青色申告会のホームページ「匠の技」のPR・広報に協賛し、西新井青色申告会の会員向け商品「あだちせいわ青色申告会ローン」を取り扱っております。

### ○金融円滑化の取組み

当金庫は、地域の繁栄と発展に奉仕することを経営理念に、地域における金融の円滑化に尽力してまいりました。

昨今の厳しい経済金融情勢のもとで中小企業や個人の借り手の資金繰りを支援するために、平成21年12月に時限立法として中小企業金融円滑化法が施行されました。当金庫は同法の趣旨を踏まえ、お客さまからの資金需要や貸付条件変更などのご相談・お申し込みについて営業店窓口および融資部企業支援グループで対応しております。

#### 中小企業金融円滑化法に基づく貸付の条件変更の状況(平成24年3月31日現在)

(単位:件、百万円)

		申込み	実行	謝絶	審査中	取下げ
債務者が 中小企業者等の場合	件数	4,709	4,289	193	152	75
	金額	53,101	49,027	2,054	1,406	612
債務者が 住宅資金借入者の場合	件数	225	196	18	5	6
	金額	4,149	3,447	456	160	84

※当金庫ホームページの「金融円滑化に向けた取組み状況」にさらに詳細な表が掲載されております。

### 3. 経営改善支援

取引先企業の課題解決を支援する態勢を敷き、事業再生および経営改善支援を行っております。平成23年度は、外部中小企業診断士2名と契約のうえ、融資部企業支援グループを中心にお取引先263先に対し経営改善支援活動を実施いたしました。

#### 経営改善支援の取組み実績(平成23年4月～平成24年3月)

	期初 債務者数	うち 経営改善支 援取組み 先数				経営改善支 援取組み率	ランク アップ率	再生計画 策定率		
		aのうち期 末に債務者 がランク アップした 先数	aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数	aのうち再 生計画を策 定した先数	d					
	A	a	b	c	d	a/A	b/a	d/a		
正常先	①	5,174	21	0	15	4	0.4%	-	19.1%	
要 注 意 先	その他要注意先	②	1,116	190	7	156	56	17.0%	3.7%	29.5%
	要管理先	③	9	1	0	0	1	11.1%	-	100.0%
破綻懸念先	④	302	48	2	43	27	15.9%	4.2%	56.3%	
実質破綻先	⑤	139	2	0	2	2	1.4%	-	100.0%	
破綻先	⑥	46	1	0	1	1	2.2%	-	100.0%	
	小計(②～⑥の計)		1,612	242	9	202	87	15.0%	3.7%	36.0%
	合 計		6,786	263	9	217	91	3.9%	3.4%	34.6%

注) ・期初債務者数及び債務者区分は23年4月当初時点で整理。

- ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
- ・bには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はaに含むもののbには含まない。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はbに含む。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含まない。
- ・cには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
- ・「再生計画を作成した先数d」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「当金庫独自の再生計画策定先」